

| 帳 數 | 元 丁 | 號 |
|--------|--------|---|
| 278 | 26 | 2 |
| 281 | 26 | 3 |
| 300 | 26 | 4 |

株式會社
七尾銀行

第 二 八 三 號

小口當座預金通帳

梅田
平野安太郎殿

此通帳附込期限

自明治四十二年十一月十五日

至明治四十二年十一月十日

自明治四十二年十一月十五日

至明治四十二年十一月十四日

自明治四十二年十一月十五日

至明治四十二年十一月十五日

此通帳枚数表紙共拾參枚

明治四十二年十一月十五日

株式會社 七尾銀行



小口當座預金規定

一 小口當座預金は此通帳を以て証據とす依て預け金を爲す人へは此
通帳を渡すへ
一 預け金は一口金五圓以上とす
一 此預け金の仕拂は通帳所持人へ拂渡すへし
一 預け金を爲し又は仕拂を求めらる時は必ず此通帳を持参せらるへし
一 當銀行は其出入金高を記載し證印を以て割印の上還付すへし
一 此預け金の利息は預け入れの翌日より仕拂の前の迄毎日の差引残高
(圓未満は算入せず)に對し金百圓に付日歩銀厘の割合を以て毎
年二月八月末日決算の上仕拂ふへし當銀行の都合により豫め新聞紙
上へ公告し利息割合を高低することあるへし
一 此通帳は預け金受渡しの證なれば常に注意保管せらるへし万一紛失
又は水火盜難等に罹りたるときは速に其事由を當銀行へ申出でらる
へし

[illegible]

